



発行所
(秋田県)
鷹巣町役場町長室
電話(代)550番直通42番
印刷所
成文社印刷所
(発行部数 5,650部)

新年明けまして
おめでとうございます

ことしも、みんなの協力で
町づくりにがんばろう

新年のご挨拶

町長 成田喜八



新年に當つて新春の御慶中
納むると共に弐万八千の町
民各位の万福と郷中安全を
祈念致します

然し当座にこれに類似して
事柄について質問を受けて
相手の失望を受けることが
あります

さて年々広報で「新旧の年」に関する記事が、旧型の年にしたで、それ等を略すことにより、新年随想でも云うべきことを書けてみましたが、吾が町は年々漸進的とは云え、町勢も発展しつつあるは、自他共認められるところであります。

当歳は町政は実行である、の考えの元に処置す。きだの町政を憂えません。きだの町政治上の発言は、物的的、順次を進み財源にも、土木、

そこでは、仲絶、拒絶には何事でもであるかと考察され、事に即応し得ぬ底力即ち全町の和であると信ずるのである。尤も底力にも根拠がある故に、絶て思ふ根拠に違ひ得ぬ事もあることと当然であるが、當事者外の民衆の間に不満も生れれば文手が痒いと云ふ批評も出る訳である。またすぐて職務を担当する者として職務に対する日頃の考え方を述べて、さして貰ひま

新年はお互いの

アイデアで飛躍の年に



それがどんなに突拍子もないことであっても、批判めいたり、或は否定めいた言葉はいつさい禁止にして自由に、奔放に、各自の想

永い伝統の社会に生きたち、世間一般の常識の内生活して来たわれわれは、ともすれば、その中から出来た尺度をもつて、伝家の

新年は信州教育を

範に人づくり教育から



教育長 河田 太茂藏

宝刀と、新しいことへ臨む態度と。」「そのことはこうなる。」「このことは実現性がある。」「と生れ先に飛躍に飛躍して、相手を驚かぬ無事な悪戯な日々を明け暮れて行。

考えてみれば、実にこういうことである。われわれの常識には、どうも一定の限界があるように、あたになつてみれば、当然のこととして気づくところであつてもその時にその限界の線を越える。と云うことは、仲々出来ないのが普通であつて、そしてこのことはいらう

と世間へ招来される小さなあまを、まねるような防にも居るのであるが、同時に又大きな進歩、飛躍のバキとなつて行けることは、はなめない事実である昭和十八年は、わが國樂府合行設計師が、いよいよ重要高調される段階の年である。

この際、いろいろ消極的の全部閉止にしては、一応イデヤを大いに風発し合う機を、出来るだけ多くもつて、飛躍への構えをもつのである。



振興、教育向上の目的をもつて、数年前から町議会の産業経済、並びに教育民生各常任委員、町教育委員、校長会、教頭会等が現地視察をしてこられたので、今

信州穀崎、開れて、広
い高原を持ち、その上
に人口が多いので、生活するに
は努力しなければなら
いのである。従って、生
産性を高めるためには、種々
創意工夫をこらして、労働
意欲に燃えなければなら
ないわけである。そこで唯一
の資本は人であるとの信念
から、何よりも教育をたい
じにしてきたのである。そ
の教育専攻、教育優先、そ
してその実績、これらがや
がて教育県として、自他も
に許すようになつたゆえん
であらう。

後、我が郷の開発と、教育
の進展の上に寄与すること
を確信するものである。

年始は簡素で明るく
1 国旗をたててお祝し
しましょう

2 家族そろつて楽しめ
る正月にしましょう

**基本選挙人名簿の
登録人員確定まで**
鷹巣町選挙管理委員会では
昨年九月より現在で、
基本選挙人名簿を調整し
てまいりましたが、十二月二十日
その名簿が確定しました。

信州教育は日本の屋根に
聳えた日本アルプスにも似
て、全国教育者が、度は杖
を引きながらこゝである。

学校は地域社会から信頼
され、旺盛な研究意欲、高
い気位等にすぐれているな
ど多くの学ぶべきものをの
も

そこで我が町でも、産業
社協議会に寄附されました

男 七（吾人）（去年増）
女 八（吾人）（去年増）
計 一六（吾人増）

秋田 返し

北秋田福祉事務所勤務の
富田四朗さまはこの度亡三
女さまの養育町社会福
三〇〇円を産業社協会へ
社協議会に寄附されました

謹賀新年

町長	成田喜八
助役	成田仁市
収入役	長崎文太郎

長藤島修三	町民課長	藤内六郎
長藤原一	農林課長	成田克美
長岐益太郎	土木課長	池田竹治
長佐藤恒治	出納室長	松尾政雄

町議 會	議長	副議長
成田稔	佐藤辰五郎	

小笠原久一	議員	田村幸之助
武田三太郎	〃	沢田一義
櫻井報三郎	〃	長岐源蔵
高坂豊作	〃	成田敬治

藤原 佐々木 出川 昌山 三沢
愛媛 治武 一礼 吉吉 三吉
〃 〃 〃 〃 〃
藤原 三沢 佐藤 仲村 奈良
改治 修之助 藏 正 庄太郎

堀木成晶
 部村田山
 誠喜末忠
 孝八吉光
 〃〃〃〃
 永長中
 井岐林
 与佐藤
 藤一郎蔵

河田 彦藏 武田 治
九島 与治郎 事務局長

佐藤茂信 武内正俊
千葉榮太郎 河田太茂藏
農業委員長 松尾市郎

長代理 小笠原 広治
巢町消防長 成田 総一郎
消防署長

岩川 可(鷹巢) 副団長
鈴木権八郎(綴子) 〃
長岐三一郎(七日市) 〃
中島喜代治(沢口) 〃
佐藤 敏藏(坊沢)
村上儀八郎(栄)
熊谷 春治(七座)

子真、新春の空高くそびえたつ望楼
年の出発は、四日の消防出初め式

からでも云つてゐるかのようにな

